



わが進明

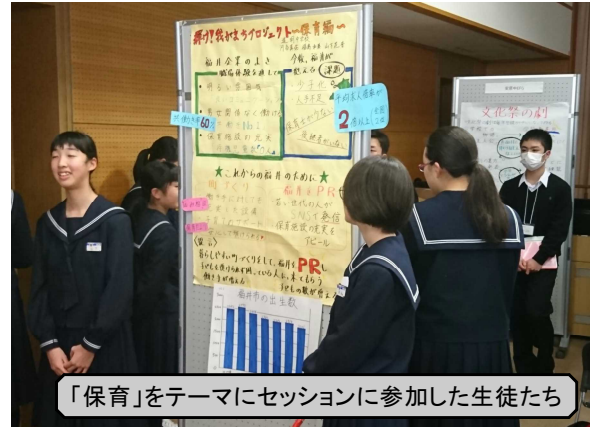
校訓：明るく 正しく たくましく

福井市進明中学校
学校だより 第20号
令和2年2月27日
TEL (0776)20-5128
FAX (0776)20-5129

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/shinmei-j/>

○2年生 実践研究福井ラウンドテーブル2020に参加

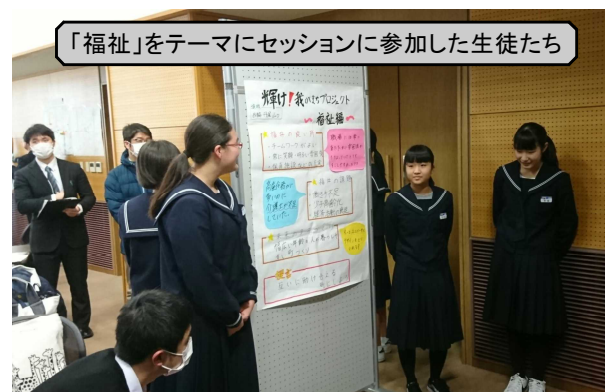
2月15日（土）に、福井大学で実践研究福井ラウンドテーブル2020 Spring Sessionsが開催され、2年生徒13名が Special Students Session と銘打って行われたポスターセッションと生徒ラウンドテーブルに参加しました。このセッションのテーマは、「社会・世界に開かれた教育課程の中で、私たちは何を学び、どのような力を伸ばすのか」というもので、本校の生徒たちは、これまで取り組んできた総合的な学習や職場体験での学びを活かして、福井の企業に対する提案活動を行いました。生徒たちにとっては、県内外の中高生たちとの交流を通して、様々なことを学ぶことができる貴重な体験となったようです。本号では、そのポスターセッションの様子をお伝えします。



まず、司会者である関西学院高校の先生からの「20分という限られた時間をどう使うか、聞き手を意識したポスターセッションにして欲しい」という呼びかけからセッションはスタートしました。

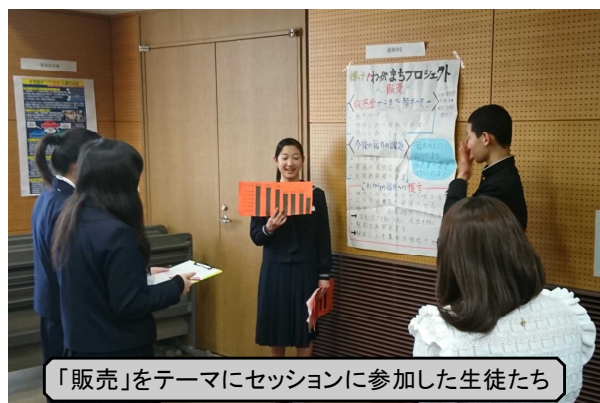
「保育」をテーマにしたグループは、小ボードを活用しながら、聞き手に問いかけるような口調で、保育園での職場体験を通じた学びを語っていました。ところが聞き手が2名と少なく、質問もあまりできません。そんな状況でも、生徒たちは、咄嗟に三択クイズを出題しながら参加者と交流するなど、臨機応変な対応を見せていました。また、時間が残りそうだと判断すると、逆に参加者に出身地を尋ねたりしていました。福島県から来たという高校生に対しては、福島県での保育園の現状を質問していました。生徒たちは、保育園の魅力伝える手段として SNS の活用を提案していましたが、その高校生からは、「SNS だけでは、若者にしか伝わらないので、多様な媒体を活用するとよい」というアドバイスをもらっていました。最後に、「福井県の充実した保育園の魅力を全国に発信することで、福井に子育て世代を呼び込み、福井県の人口減少に歯止めをかけたい」と主張していました。

一方、「福祉」をテーマにしたグループは、「福井県は高齢化が急速に進んでいるわりには介護士が少ない」という現状を訴えていました。福井県の課題は、「働き手不足」「少子高齢化」「経済活動の衰退」の3つだと言うのです。そんな主張に対して参加者から、「経済活動の衰退を示す具体的な数値データはないのか」という質問を受けました。その質問に対して生徒たちは、「具体的な数値データは持っていないが、生活経験から福井の経済の衰退を感じる」と答えていました。その具体的な事例として、「駅前商店街の人通りの少なさ」や「西武新館の閉館」などを挙げていました。この生徒たちの対応を、



司会者の先生は全体の場で、「探究ということを考える上で、とてもよい姿勢だ」と誉めてくださっていました。生徒たちはその言葉を聞いて、はにかみながらも嬉しそうな表情を浮かべていました。

もう一つ、「販売」をテーマにしたグループのセッションの様子を紹介します。このグループは、福井の企業の良さとして、「働きやすい」「地域とのつながりが深い」「従業員が協力合っている」という3つを職場体験から学んだと言います。また、今後の課題として「少子高齢化」「若者の県外流出」「北



陸新幹線開業への対応」を挙げ、これらの課題を解決しなければ、福井の人口は益々減少し販売業も衰退していってしまうと訴えていました。その解決のためには、「福井の伝統・文化を守り、伝える」「公共交通機関の整備」「福井の魅力の県内外へのPR」「駅前再開発」を提案していました。発表を聞いていた羽水高校の生徒に「若者目線で福井にこれがあったらいいというものを教えて欲しい」と生徒たちは質問していました。さらに、京都から来たという同志社中の生徒にも「若者にとって魅力あるまちとは何か」と尋ねたところ、逆に「福井の魅力は何ですか」と問い返され、生徒たちは答えに窮していました。このようなやりとりを通して、参加者とも打ち解け、会話が一気に弾んでいきました。羽水高生からは、宿泊施設ともタイアップした県内の観光地をめぐるモデルコースの企画を提案されていました。また、同志社中生からは、「電車・バスといった公共交通機関の整備も大切だが、京都とは違う福井の自然を生かせるアイデアが大切だ」というアドバイスをもらっていました。このような対話を通して生徒たちは、「都会に寄せても駄目なので、福井らしさをアピールした方が良かった」と、自分たちの発表を最後に振り返っていました。

生徒たちは、全国からたくさんの中高生が集まっているという緊張した雰囲気の中でも、堂々と自分たちの考えを述べ、参加者からの鋭い質問にも臨機応変な対応を見せていました。生徒たちの成長を感じることができた半日でした。



3月の主な予定

2日(月)：集金日 5日(木)：県立高校入試1日目 6日(金)：県立高校入試2日目 9日(月)：県立高校入試追検査(～10日) 10日(火)：3年生を送る会 11日(水)：卒業記念品贈呈式、同窓会入会式 12日(木)：卒業証書授与式、県立高校合格発表 13日(金)：立志式 16日(月)：生徒会立会演説会 17日(火)：球技大会、教室移動 19日(木)：色別ボランティア活動 24日(金)：修了式、通信簿渡し、**離任式** 25日(水)～学年末休業

※年度当初、27日に計画していた離任式は、教職員の異動の発表が早くなる予定のため、24日(火)に変更させていただきます。